



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

# 大和中ロータリークラブ会報

Discover a New World 見つけよう

of Service

奉仕の新生面

1984~'85 R.I 会長 カルロス・カンセコ

猪熊会長 クラブターゲット 見なおそう 出席・親睦・そして奉仕を・・・

第 345 回 例会 60 年 5 月 16 日 第 351 号

### 出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
54名	42名	80.77%	100%

欠席者 (10名) 病欠 (2名)

古木、布施、原田、菊地、小林、三浦、大石  
高橋、辻、渡辺

本日のプログラム 5月 23日  
寺田伍六君 「ロータリー情報」

次週予定 5月 30日  
5月26日(日)の第3回家族会に振替

司会 SAA 近藤富士男君  
ソングリーダー 上村 幹雄君  
「それでこそロータリー」

### 〈ゲスト〉

駒井義親君、大矢幾男君、植木博一君  
(大和青年会議所)

### 〈ビジター〉

宮崎勝治君 (茂原) 細野繁利君 (東京町田中)  
池田升雄君、加藤哲也君 (横浜瀬谷)  
星 幸男君、大矢晴行君、横沢利武君  
土屋 巖君、渡辺 稔君、三瓶洋爾君  
小森 侃君、高橋久治君、樋渡金彦君  
河野重康君 (大和)  
朝岡 薫君 (大和田園)

### 〈会長報告〉

5月も半ばを過ぎ、今年度の例会も残す処数回

となって参りました。もう少しのご協力をお願い致します。

クラブとしまして、たいしたお手伝いも出来ませんでした。先週11日12日の大和市民まつりにおきまして大和青年会議所主催でミスやまコンテストが行なわれ大成功に終わりました。本日青年会議所の皆さんがお礼に見えておられますので一言お使い致します。

大和青年会議所常任理事 駒井義親君  
ミスやまコンテスト開催にあたりましては大和中クラブはじめ会員の皆様方より絶大なご協力を頂きありがとうございます。お蔭様で無事終了する事が出来ました。この催しは今年限りという事に一応なっておりますがもし、来年も開催するような事がありましたらその節は

1. 真実かどうか

2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和中央1-5-40  
大和市商工会館内  
☎0462-63-7926  
例会場：大和市大和南1-4-4  
八千代信用金庫大和支店4階  
☎0462-64-3654

例会日：毎週木曜日12時30分より  
会長：猪 熊 唯 夫  
会長レク：上 田 利 久  
副会長：藤 田 重 成  
幹事：伊 藤 英 夫  
会報委員：松本(三)・上村・伊藤(直)

又宜しくご協力戴きたいという虫のいいお願いを致しまして一言お礼にかえさせて戴きます。

## 〈幹事報告〉

本日は特にございません。

## 〈委員会報告〉

ゴルフ同好会 委員長 前原一男君

本日お配り致しました四クラブ合同ゴルフ競技会組合せ表の所に60年5月14日とありますのは21日のミスプリントですので訂正下さい。

親睦活動委員会 委員長 後藤定毅君

5月26日(日)の家族会の集合場所と時間は、午前6時30分 大和市役所駐車場と午前6時45分南林間駅東口広場と致します。

遅刻をしないように御集合お願い致します。

お祝 おめでとうございます！

結婚記念日 潘桂柳君 (5月21日)

創業記念日 加藤好秋君 (5月11日)

入会記念日 前原一男君 (58年5月12日)

## 〈卓話〉

上田利久君

### 「次年度会長運営方針」

大和中ロータリークラブも8年目を迎えようとしています。まだ伝統という程のものにはなっていませんが、皆で参加する楽しいクラブとして、そしてその自主性を守りながらそれなりの風格も培われつつあるように思えます。これも歴代の会長、幹事、理事、役員をはじめ皆様方のご努力によるものと敬意を表するものであります。その後をつぐ私は浅学菲才、もとよりその器でないことは承知しておりますが及ばずながらもこの1年間務めさせて頂きたいと存じます。幸いにも独創的具体的など意見をお持ちの理事、役員の方々が多く、バックアップして下さいますし、更に歴代会長、幹事が応援して下さいますとのことですので何とかするのではないかと自分に今言い聞かせている所で

ございます。ただちょっと気になりますのは、私たった1人で開業をしているものですから時として時間的に失礼する様な場がありはしないかという危惧でございます。がこれもロータリー精神に免じてご了解を頂きたいと思っております。

さて国際ロータリーR Iとは何物でありましょうか？現在ロータリークラブは約21000クラブ161ヶ国に及び会員数は97万人に達したと云われております。それぞれのロータリークラブの連合体、これがR Iであります。各クラブはその自主性を守りながら国際ロータリーの傘のもとに自由に集り、一つのルールのもとでそれぞれの地域社会にもっとも適応した計画を立てて行動しなさいという風にされております。

ここで1985～86国際ロータリー会長ノミニエーのEdward F. Cadman氏からのメッセージをご披露致します。

ロータリアンの皆さん「あなたが鍵です」と呼びかけておられます。

あなたが鍵です…あなたのクラブの扉をあけて下さい。まだ奉仕と友愛の機会に恵まれていない専門職、企業代表の方々のために。

あなたが鍵です…不運に閉ざされ、希望を失った人々のために門を開けてあげて下さい。あなたの着想と理想と行動力によって地域社会のニーズに応えるようにして下さい。あなたは隣人と世界の人々に幸せをもたらす鍵となります。「あなたが鍵です。」

これが次年度R I会長のメッセージです。それぞれのクラブの自主性を保ちながらしっかりやれよという大変力強いターゲットだと思います。次年度上野ガバナーノミニエーは「共に奉仕する我等の年度」と題して、その心はブランデーと述べておられます。ブランデーのV.S.O.Pは非常にすぐれて古く澄んだ(Very Superior Old Pale)という頭文字であります。上野ガバナーのおっしゃるO.P.は、Vitality 活動性とSpeciality 特質

性Originality 独創性Personality個性的である  
というようなことでありまして、即ちクラブの自  
主性と特質性を打ち出して活気ある年度としてほ  
しいという期待でありましょう。

ここでガバナー公式訪問についての日程変更に  
ついてお知らせをしておきます。

予定では9月5日例会後がクラブ協議会となっ  
ておりましたが当日R.I.会長が来日され、午後4時  
からホテルオークラでレセプションがあり、それにガ  
バナーがご出席されるため出来ることならクラブ  
協議会を午前中に変更してほしい。という要請が  
参りました。私としましては、若い会員も多いの  
で仕事優先という事で考えさせてほしいとお答え  
し、分区代理並びに地区幹事とコンタクトをとり  
ながら、一方では委員長さん方のご都合を伺いま  
した所、幸いにも午前中でも宜しいというご承諾  
を得ました。9月5日休午前10時～12時クラブ協  
議会、12時30分～13時30分例会出席となります。  
ですから事情の許す範囲でなるべく多数ご出席下  
さい。

R.I会長の「あなたが鍵です」というターゲット、  
ガバナーノミニの「ともに奉仕する我等の年度」  
V.S.O.P.の心でということを受けまして、次年度  
我が大和中ロータリークラブの運営方針について  
話を進めさせていただきます。

国際ロータリーもその生い立ちの初めは、単な  
る仕事上の相互扶助的だべり会であったようであ  
ります。そしてやがてここで集まる我々の親睦の  
エネルギーを「世のため人のため」に活用するこ  
とは出来ないのかという考え方へと発展し奉仕ク  
ラブとしての概念が生まれたと云われております。  
クラブは考えてくれない。一人一人が思いをめぐ  
らし、思索し、語り合う中から何か役に立つもの  
はないか。「仲よく語ろうロータリー」というの  
を次年度のターゲットと致します。

先日も亀谷分区代理が主催なさいましたI.G.F.に  
於いても、物を考えるという事が討論されたこと

が皆様の御記憶の中にあるかと思いますが、ロー  
タリアンは物想う人でなければならないと思っ  
ている次第です。とは申せロータリーの取りあげる  
テーマは無限に広いものですから今年度は次の三  
つのポイントに絞って参りたいと思います。多少  
順番は違って来るかと思いますが、第1にいつも  
誰かと続けよう：くつろぎの中で己を知り他人を  
知る。ここに委員会活動がある。そして親睦が芽  
生える。積極的、具体的に行動してみよう。とい  
うことで、若しこの委員会活動がなかったとした  
ら私のような非社交的な人間はクラブになじむこ  
とさえ出来なかったのではないかと思っております。  
一見馬鹿ばかしく見える委員会活動もお互い  
の理解を深めるための一つの場であるとお考えい  
ただき、クラブ奉仕委員会を中心にして皆さま方  
のクラブの調和を期待しています。幸いなことに  
現在大和中クラブの卓話は評判が良いようですが、  
これは現在のプログラム委員並びに皆様のご協力  
によるものと嬉しく思っております。更により良  
いものにしていくために、より広い分野からの卓  
話者、スピーカーの方を積極的にご推薦してい  
ただきたいと、と同時に卓話時間を確保するための  
努力も必要ではないかと思っております。一般の卓話  
は30分、クラブフォーラムは1時間、あらかじめお  
申し出のあった、内容のある卓話は1時間という  
ように前から決まりがありますので、それを成る  
べく守っていきたくて思っております。たまには  
卓話の時間に空白が生じてしまいますので、その  
空白をうめるために「3分間スピーチ」を用意し  
ておきたいと思っております。情報、プログラム  
雑誌、広報委員会など内容は問いませんので、な  
るべく多くの方にスピーチをお願いしたいという  
わけで、会員各位に呼びかけていただきたいと思  
います。3分間といひますのは私がしゃべって  
いるスピードで原稿用紙2枚、800字前後でござ  
いますから、あらかじめ肩をたたかれた方は800  
字原稿を2通作って下さい。1通をSAAに提出

して下さい。1通は毎回例会ごとに懐に入れてきて下さい。いつ指名されるかわかりません。大変スリルがあります。1年間緊張のしどうしてごぞいます。でも、もしかしたら発表の機会がないかもわかりません。そういう方のために会報委員会がお待ち申し上げております。後日誌上発表といたします。

卓話時間の確保、口で言うほど簡単ではございません。特に偉い演者の方が来ますと、のっているのに時間が来たということは、なかなか言いにくいこととごぞいます。そういうことも承知はしておりますが、SAA、出席、親睦、スマイルの各委員の方のご協力のもとより、会員各位のご理解が最も大切なことだと思っております。

次に増強について一寸ふれさせていただきますが、先日の地区協議会に於きましてカドマンRI会長ノミニーからのメッセージでございます。

優れた人材に協力をお願いしたい。だから会員増強が必要なのである。ということです。当クラブは幸いにして猪熊会長、伊藤幹事、富沢増強委員長はじめ皆さんのご協力によりまして12名もの素晴らしい仲間が増えました。クラブにとって仲間の増強というのはビタミンBでございます。ビジターの方はビタミンCでございます。クラブにとってビタミン剤でございます。どしどしビジターの方にもお越しをいただきたいと思っております。この折角の出合いを大切にしていきたいと思っております。

私事で恐縮ですが、仕事あつてのロータリーという思いが最初は大変強く苦勞しました。何回もやめようと思った事があります。でも本日ここにこうして立っております。これは多分私は淋しがりやなのだろうと理解しております。はじめのうちは、何か馬鹿バカしいと思うことがあるかと思いますが大人の幼稚園というようにご理解いただきまして急いで結論を出さないで、皆さまの相談役として、情報委員会、増強委員会等々があります

ので、何となしにムカムカして来たら早目に話し合いをしていただければと思っております。そういう気持が逆に我々のクラブを明かるい方向に持っていくのではないかと考えております。「みんなで語ろうロータリー」というわけでありませぬ。**第2に 世界的友好 今までの蓄積を見直そう：**ふと結ばれた東慶州ロータリークラブとの縁、すでに進められていた中国知識人との交流、そして交換学生とのふれ合い、それぞれを大切にしていこうというものであります。

今日、日中の交流ということ大変あたりまえに聞こえます。日中交流なくして経済はありえないという時期に入っておりますが、8年前すでに我がクラブ会員の土屋翁三さんとご遵父をはじめ一家をあげて中国留学生を温かくお迎え、お世話したという経緯がございます。この事をふり返りながら同時に東慶州クラブとの民際、留学生の出先クラブとの交流なども含めまして国際奉仕委員会を中心に皆さんと考えて参りたいと思っております。ロータリークラブ活動の多くはそれぞれのクラブの自主性にまかされておりますが、大きな組織をもって運営されていて大変有意義なプロジェクトが2つあります。ロータリー財団委員会であり、米山記念奨学委員会です。これも気ざらいなさらぬで積極的にご参加いただきたいと思っております。

さて、日本の企業も国際的レベルに於いて繁栄をして参りましたが、よりよく発展するための努力として更にその努力の必要性がささやかれているやに伺いますが、職業奉仕委員会を中心に見識の高い討論が展開されるものと期待しております。**第3に子ども達に動物的ぬくもりを：**現在の日本の生産年齢、15才~65才までの年齢と、老人の比率は今1対7ですが、30年後には1対3にまで逆転すると推測されております。今日繁栄している文明国の中で日本ほど急いで老人大国に傾いている国は他にございませぬ。これは平均寿命の改善、そ

して子ども人口の減少がこれに拍車をかけているわけです。家族構成の現代化に伴い、鼻たれの餓鬼大将のもとで年齢差は関係なしに遊びまわり、たて横の人的、動物的なぬくもりを確かめながら遊ぶといった機会がほとんどなくなってしまいました。いじめられた時の悲しさ、かばってもらった時の嬉しさ、そういうことを経験することもなく母親にかしずかれ、大切に育てあげられ、仕立てあげられた結果はどうでありましょうか。これは専業主婦型と申します。

反面母親のぬくもりと匂い、優しい眼ざし、語りかけによる動物的きずなが形づくられる前に、非特定の保母によってケアされた場合には、どうでありましょうか。これが共働き型であります。大変皮肉なように聞こえますが乳幼児が仲間とふれ合うことが出来るという点だけから見れば共働きの方が有利です。それは保育所に入ることが出来ます。今母親が仕事を持っていないと保育所に入れませんから、専業の場合ですと友達がいないという時代に入っております。

ところで、最近三代で同居するというパターンもすこし増えて来ております。これも共働きをするのに都合がいいからということなのです。

今、専業主婦の子供は幼稚園に（80%）共働きの子どもは保育所へ（20%）といった割合です。

さて、母親と赤ん坊との動物的きずなが出来あがる前に、可愛さが伝わる前に仕事に戻らなければならないというのが現在の産休の現状です。この弊害につきましても義務だとか権利だとか云うことではなしに、母親自身の子育ての自覚を喚起しながら行政も企業もともに考えていかなければいけない問題と思います。と同時に専業主婦であってお手伝い型へたへた育児が仲間とふれ合う機会もなく、幼稚園入園まで続くとしみますとこれも無視するわけには参りません。更に見逃してほしくないのは、子供達が小学校へ通い出すと同時にパートに出かけ結果的に鍵っ子が増えてくるということ

です。従来の非行とは別に最近では陰湿なイジメが増えてきています。これもいろいろな因子があると思いますが、乳幼児期にいじめられた時の悲しさ、かばってもらった時の嬉しさ、そんなことを全然経験していないわけです。痛みを全然知らないわけです。従って人のことを思いやるといふ気持ちも全くありません。そういう子供達の集団の中でおこっている出来ごとではないかと思えてならないのです。

それはそれとしまして、婦人の実態意識調査では、育児に手がかからなくなったら60%のお母さん達は仕事をしたいと考えています。そのうちの何割かは子供の躰とか教育のために我慢をして専業主婦を続けているということにもなりかねないわけです。勿論これは一部であり、その殆んどの方は何人もの子供達を育てながら彼等の育成を楽しみにして家庭を守り、一方では趣味と教養を培っている現代的専業主婦の方々もおられます。ただ若いお母さん達にいきなり、趣味と教養をもって子育てをやりなさいと云ったところでそうもなかなか参りません。いろいろな誘惑がございます。これが文明社会だと思えます。

昔はお母さんが仕事を持っているということに反発を感じましたが、そういう時代は去り、いまや母親が仕事を持っている、とか持っていないとかではなく、親達が触れ合い語り合い、そういう場を含めた「たてわり型の子育てクラブ」鼻たれ餓鬼大将のもとで遊んだその雰囲気を考えてあげなければならないのではないかと考えております。所で我が大和中クラブにはボーイスカウト育成のために大勢の方が力を注いでおられますが、そういう方にいわせると、タテ割り型子育ては昔からやっているとおっしゃると思います。そういう教育方針をもうすこし小さい年齢からはじめることは出来ないかという点にございます。また実際に若い従業員について「タテ割教育」の必要性を経験なさっている方も多いと思います。更には企

業内の保育によって人間的ぬくもりを経験なさっている方もいらっしゃいます。それぞれの立場からのご示唆をいただければと思っているわけですが、何せこれは女性の仕事で、ロータリアンの皆さんには縁遠いことございまして、いろいろな示唆をいただくにあたりまして、乳幼児保育の現況と基本的な考え方、その辺をすこし整理しておいた方が良くであろうということで、子ども達に動物的ぬくもりをというシリーズを組ませていただきます。4回ばかり卓話をこれによって消化させていただきます。①高令化社会への認識 ②幼児教育の立場から ③フランス的子育て ④小児科の窓から等です。

引続き、子育てと仕事、子育てのための理想的環境などについて、若いローターアクトJ.C.の方々にご参加いただいて若い方々の希望を教えてください。次に地域社会に於けるタテ割り型の子育てクラブが現実にはどういうふうに必要なかということをも母親クラブの代表をまじえて討論を試みたい。これはいずれも青少年奉仕委員会並びに社会奉仕委員会を中心にクラブフォーラムを持ちたいと思っています。そしてもしかして公立保育所を管轄しているところの地方行政にアプローチする場があるかどうかについても皆さんと一緒に考えて参りたいと思っております。

以上大変大きなテーマです。どれだけのことが出来るか解りません。結果を問わないで下さい。やるだけやってみたいというだけのことです。

国際ロータリーの一員としてその基本的な奉仕活動を優先させることは申すまでもありません。各委員会の余ったエネルギーがあったらすこしまわしてほしいというのがお願いであります。

それはともかくとして、折角のロータリークラブでございます。楽しく、仲よく、健やかにやっていきたいと思っています。

皆様方のご協力と積極的な参加、ご理解をお願い致します。ありがとうございました。

## 《スマイルボックス》

委員長 北砂富三君

細野繁利君（東京町田中） 又伺いました。宜しく……

池田升雄君（横浜瀬谷） いつもお世話になります。

星 幸男君（大和） 本日も宜しく……

大矢晴行君（大和） 久しぶりに伺い致しました。今後宜しくお願い致します。

河野重康君（大和） お世話になります。宜しく

横沢利武君（大和） お世話になります。

高橋久治君（大和） 暫らくでした。宜しく……

渡辺 稔君（大和） お世話になります。

三瓶洋爾君（大和） 久しぶりにお世話になります。

樋渡金彦君（大和） お邪魔します。宜しく……

小森 侃君（大和） 宜しくお願い致します。

朝岡 薫君（大和田園） 本日はお世話になります。仕事の都合で早退させていただきます。

大和青年会議所 ミスやまとコンテスト開催に際し、貴クラブ及び会員諸氏に御後援、御協賛いただき無事に終えることが出来ましたことを御礼申し上げます。

前原一男君 入会して早や3年目になりました。いまだにロータリーのことは解らないことが多いのですが、今後一層努力していきたいと思っております。皆様の変わらぬご指導をお願いします。

潘 桂 柳君 カミさんもらって30年近くなり、家ではもうすでに記念日なぞ消滅しています。帰ったら山の神にお祝いを受けたことを伝えます。但し伝えるのみです。

加藤好秋君 創業記念のお祝いをいただきありがとうございます。